

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年11月後半）

1. 経済

- 欧州統計局によると、2012年のルクセンブルクにおける人口増加率は前年比23%増加（EU1位）。うち、自然増加率は同4%増加（アイルランド、キプロスに続くEU3位）、社会増加率は同18.9%増加（EU1位）。（20日付ヴォルト紙電子版）
- 2012年のルクセンブルクにおける一人当たりのエネルギー消費量は前年比▲4.6%で、過去10年で最も低い消費量。（21日付統計局プレスリリース）
- 10月の失業率は7.0%（前月は7.0%、前年同月は6.2%）。（25日付統計局プレスリリース）
- 11月の消費者信頼感指数は0（前月は▲1）で、前月より僅かに改善。（28日付中央銀行プレスリリース）
- ルクセンブルクのGDP成長率は2013年2.0%、2014年2.7%の見通し。（28日付ルクセンブルク統計局コミュニケ）
- アルセロールミタル社（本社当国）、新日鉄住金と共に、独鉄鋼大手ティッセンクルップの米工場を15億5000万ドルで共同で取得することを29日発表。（29日付アルセロール・ミタル社プレスリリース）
- カーゴルクス社、12月5日より週1便でバマコ（マリ）に就航する旨発表。（29日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- ルクセンブルク証券取引所ロベール・シャルフェCEO、欧州証券取引所連合（Federation of European Securities Exchanges：FESE）の理事会メンバーに選出。（20日付証券取引所プレスリリース）
- ルクセンブルク銀行協会（ABBL）、デ・シリアABBL専務理事を事務局長に指名した旨22日に発表。2014年5月に就任予定。（22日付ABBL）
- 税の透明性及び税の情報交換に関するOECDグローバル・フォーラム、2009年から2011年の租税に係る透明性及び情報交換の基準の実施について50カ国・地域の総合評価を22日に発表。ルクセンブルクはキプロス、セーシェル及びヴァージニア諸島と共に情報交換基準を「遵守していない」と指摘された。（23日付ヴォルト紙電子版）

3. 政府

- ルクセンブルク・フォー・ファイナンス、アンリ大共同妃殿下トルコ公式訪問に際し、経済セミナーをイスタンブールにて21日に開催。(25日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス)
- ルクセンブルク政府、税務当局間の自動的情報交換を単一の国際的基準とするためのOECDにおける取組を支持する旨の共同宣言に28日に署名。同共同宣言には、ルクセンブルク他36カ国が署名。(28日付財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。